

2019年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
2301141	家庭科教育法 A Teaching Method(home-making)A	栗田 舞	専門	2	選択	2年 前期

**科目の概要**

高等学校家庭科教員に必要な知識と具体的な指導方法を身につける。  
家庭科の教科としての概要と指導内容、そして様々な指導法を修得する。  
家庭科の様々な分野の教材研究を行ない、学習指導案を作成する。

学修内容	到達目標
① 学習指導要領「家庭」および専門教科「家庭」の概要を知る。 ② 教員として、何をどのように教えたいか、何を生徒に残したいかを考える。 ③ 学習指導案を作成し、家庭科の授業を創り上げる。	① 学習指導要領「家庭」および専門教科「家庭」の内容が説明できる。 ② 教育問題に対し関心をもち、教材研究や学習指導案を作成するのに役立てることができる。 ③ 家庭科の授業を成立させ、行なうことができる。

**学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素**

**学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	自分で課題を設定し、その解決のために自発的に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	実践に備え、学校現場で通用する言動を修得する。
考え抜く力	課題発見力	自分自身の課題のみならず、教材における教育目標を見極める力を身につける。
	計画力	
	創造力	生徒の多様性に配慮し、さまざまな視点で考えることができる。
チームで働く力	発信力	考察した学習指導案に基づき、分かりやすく伝える努力をすることができる。
	傾聴力	他者の案や考えをきちんと聞き、視野を広げることができる。
	柔軟性	他者の意見や学校における生徒との対応のなかで、共感をもって受け入れる姿勢を身につける。
	状況把握力	
	規律性	相手の気持ちになって考え、行動することができる。
	ストレスコントロール力	教員として学校で働くときの、様々な場面を想定し対処法を考えることができる。

**テキスト及び参考文献**

テキスト:「中学校・高等学校 家庭科指導法」・中間美砂子、多々納道子・榎建帛社・2,200円  
「家庭基礎 自立・共生・創造」・東京書籍  
参考文献:「高等学校学習指導要領解説 家庭編」文部科学省

**他科目との関連、資格との関連**

他科目との関連:教職関連科目  
資格との関連:中学校教諭一種(家庭)、高等学校教諭一種(家庭)

学修上の助言	受講生とのルール
・理想とする教師像をもっていること。 ・学生全員で高め合う授業なので、積極的に参加すること。	・日常生活のなかで常に問題意識をもつこと。 ・教員となったときに生徒に何を伝えたいか、何を残したいのか明確にもつことができるようになることを期待する。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート				
成果発表 (口頭・実技)	50	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ発表、個人発表において單元ごとの重要な項目について、説明をすることができる。</li> <li>・レポートや学習指導案を、所定のフォーマットに沿って作成することができる。</li> <li>・模擬授業を行なうことができる。</li> </ul>
		②	✓	
		③	✓	
		④		
		⑤		
作品		①		
		②		
		③		
		④		
		⑤		
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>(主体性) 自己分析ができる。</li> <li>(実行力) 教員として活躍できるよう、実践力を身につける。</li> <li>(課題発見力) 日常生活のなかで常に、問題意識を持つことができる。</li> <li>(創造力) いろいろなシチュエーションと、その対処法を考えることができる。</li> <li>(発信力) 伝えよう、知ってもらおうと努力することができる。</li> <li>(傾聴力) 素直に相手に耳を傾け、視野を広めることができる。</li> <li>(柔軟性) 臨機応変に対応することができる。</li> <li>(規律性) 遅刻、欠席、学習意欲の欠如がみられる場合は減点する。</li> <li>また質問に対する回答、発言回数が積極的な場合は加点する。</li> <li>2/3 以上の授業に出席し、発表をした学生のみ評価の対象とする。</li> <li>(ストレスコントロール力) 職業としての教員について、現状とその対処法を理解することができる。</li> </ul>
		②	✓	
		③	✓	
		④		
		⑤		
その他	40	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ発表によるレポート</li> <li>・個人発表による学習指導案</li> </ul> において評価する。
		②	✓	
		③		
		④		
		⑤		
総合評価割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
S(秀)は、成果発表の方法に工夫があり、全体を通して授業に積極的に参加する。 A(優)は、レポートや学習指導案が所定のフォーマットに沿っている。成果発表が分かりやすい。	レポートや学習指導案を提出し、発表を行なう。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	普通教科「家庭科」・専門教科「家庭科」の概要と展開	講義・質疑応答	普通教科「家庭科」・専門教科「家庭科」の概要を理解する	(復習)自身の経験と合わせて、振り返る	180	傾聴力・規律性
2週 /	学習形態・教授法・学習指導案の形態	講義・質疑応答	学習形態・教授法・学習指導案の形態を理解する	(復習)さまざまな教授法について考察する	180	傾聴力・規律性
3週 /	家族分野における教材研究と学習指導案の書き方	グループ討議・講義	グループ討議に参加する 内容理解をする	(予習)家族分野における教材研究	180	主体性・課題発見力
4週 /	高齢者・保育分野における教材研究と学習指導案の書き方	グループ討議・講義	グループ討議に参加する 内容理解をする	(予習)高齢者・保育分野における教材研究	180	主体性・課題発見力
5週 /	食生活分野における教材研究と学習指導案の書き方	グループ討議・講義	グループ討議に参加する 内容理解をする	(予習)食生活分野における教材研究	180	主体性・課題発見力
6週 /	衣生活分野における教材研究と学習指導案の書き方	グループ討議・講義	グループ討議に参加する 内容理解をする	(予習)衣生活分野における教材研究	180	主体性・課題発見力
7週 /	住生活分野における教材研究と学習指導案の書き方	グループ討議・講義	グループ討議に参加する 内容理解をする	(予習)住生活分野における教材研究	180	主体性・課題発見力
8週 /	消費生活分野における教材研究と学習指導案の書き方	グループ討議・講義	グループ討議に参加する 内容理解をする	(予習)消費生活分野における教材研究	180	主体性・課題発見力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	家族分野における模擬授業と全体検討	個人発表 全体討議・講義	全体討議に参加する 内容理解をする	(予習)家族分野における学習指導案の作成	180	実行力・発信力
10週 /	高齢者・保育分野における模擬授業と全体検討	個人発表 全体討議・講義	全体討議に参加する 内容理解をする	(予習)高齢者・保育分野における学習指導案の作成	180	実行力・発信力
11週 /	食生活分野における模擬授業と全体検討	個人発表 全体討議・講義	全体討議に参加する 内容理解をする	(予習)食生活分野における学習指導案の作成	180	実行力・発信力
12週 /	衣生活分野における模擬授業と全体検討	個人発表 全体討議・講義	全体討議に参加する 内容理解をする	(予習)衣生活分野における学習指導案の作成	180	創造力・柔軟性
13週 /	住生活分野における模擬授業と全体検討	個人発表 全体討議・講義	全体討議に参加する 内容理解をする	(予習)住生活分野における学習指導案の作成	180	創造力・柔軟性
14週 /	消費生活分野における模擬授業と全体検討	個人発表 全体討議・講義	全体討議に参加する 内容理解をする	(予習)消費生活分野における学習指導案の作成	180	創造力・柔軟性
15週 /	教育実習の心得 家庭科の評価 まとめと総括	講義・質疑応答	教育実習の心得、家庭科の評価を理解する	(予習)教育実習で学ぶべき視点、家庭科の評価について考察する	180	ストレスコントロール力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
 ストレスコントロール力